

【平成31年度 予算要求の経営方針】

企画調整局は、「日本で一番住みよいまち」の実現のため、「SDGs未来都市」として、SDGs達成に向けた取り組みを推進するとともに、全庁的な企画・調整機能を果たしていきます。また、来年度は戦略取組み期間の最終年度となる「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成にあたり、若い世代の定着・交流をさらに促進させるため、若者の声を集める新たな仕組みを構築するなど、社会動態プラスの実現へ向けた取り組みの総仕上げを行います。

市内企業の労働力不足を背景に、今後見込まれる外国人市民の増加に対応するため、(仮称)多文化共生ワンストップセンターの設置など、多文化共生の取組みを強化します。あわせて、姉妹友好都市との周年事業に取り組み、国際交流の推進に努めます。

「公共施設マネジメント実行計画」を進めるとともに、門司港・大里地域のモデルプロジェクトの着実な進捗に努めます。各事業推進に当たっては、民間との協働を進め、選択と集中によりメリハリのついた経営を図ります。

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業 **拡充**：拡充事業 **継続**：継続事業

1 地方創生の加速

要求額 3,423百万円 (対前年度 +25.3%)

社会動態のプラス転換に向け、奨学金返還支援による地元就職の促進、定住・移住施策の推進、特に、若年層の定着に向け、専任部署の設置による若者の声の収集、特区制度を活用した規制緩和による産業競争力強化、首都圏での情報発信や人のネットワークの強化等に取組みます。

新規 外国人材地方創生・多文化共生推進事業

継続 戦略的広報推進事業

継続 北九州市未来人材支援事業

継続 「地元就職力アップ」大学支援事業

新規 (仮称)若者が語る北九州市の未来創造プロジェクト

新規 北九州市関係人口拡大事業

新規 わくわく地方生活実現支援事業

拡充 ふるさと寄附金促進事業

2 SDGsの推進

要求額 23百万円 (対前年度 +130.0%)

「SDGs未来都市」として、市民や企業へのSDGsの普及、「北九州SDGsクラブ」での産学官民の交流や活動の促進等の様々な取組みを実施し、「経済」「社会」「環境」において、統合的に取り組み、地方創生に資するSDGsの達成を目指します。

新規 北九州SDGsクラブ活動推進事業

継続 SDGs未来都市推進事業

3 にぎわい拠点の魅力向上

要求額 192百万円 (対前年度 △75.8%)

本市を代表する観光資源である小倉城のリニューアルにあわせた記念事業の実施や、世界遺産である官営八幡製鐵所を活用した本市の歴史的魅力的発信など、街のにぎわい創出に繋げる取組みを推進します。

下関市や隣市町村と連携し、関門地域や北九州都市圏域のブランド創造と観光地としての魅力向上を図ります。

継続 小倉城周辺魅力向上事業

拡充 世界遺産保全・推進事業

4 公共施設マネジメントの推進

要求額 397百万円 (対前年度 +731.8%)

「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、公共施設に関する将来的な財政負担を軽減するための取組みを進めます。また、門司港・大里地域のモデルプロジェクトの着実な推進を図ります。

拡充 モデルプロジェクト再配置計画推進事業

継続 公共施設マネジメント推進事業

新規 大規模未利用地等の利活用推進モデル事業

5 多文化共生・国際交流の推進

要求額 386百万円 (対前年度 +9.3%)

新たな在留資格の創設に伴い増加が見込まれる外国人市民が、安心して生活できるためのワンストップ相談窓口を設置するなど、共生社会の実現に向けた取組みを推進します。

外国人専門人材(留学生等)の受入環境を整えるとともに、市内就職支援や定住促進に取り組みます。

本市との姉妹友好都市交流締結(米国・中国・ベトナム)の周年事業を実施し、各市との国際交流を推進します。

新規 多文化共生ワンストップセンター関連事業

新規 外国人との共生社会の実現に向けた環境整備事業

継続 地方創生に向けた留学生等受入定着促進事業

新規 米国姉妹都市締結60周年記念事業

新規 大連市友好都市締結40周年記念事業

新規 ハイフォン市姉妹都市締結5周年記念事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。